

メルコグループ

# Business Report 2023

2022.4.1 — 2023.3.31



Wi-Fi 6E



nasne\*



Airdog mini



流水麺

新型コロナウイルス感染症の社会的影響はようやく収束に向かいつつあり、社会活動再開の兆しが見られ、株主の皆様は安堵されていることかと存じます。

2023年3月期は、当社グループは前期に引き続き全社的なテレワークを継続しながら、事業の拡大に努めてまいりました。しかしながら、円安・原材料価格の高騰・主要部材の調達難・消費者の最終需要の低迷などにより、特に利益面では厳しい結果となりました。

このような状況下で、当社は2023年1月23日付で、食品事業を担うシマダヤ株式会社のスピンオフ上場の準備開始を公表しております。この組織再編計画を始めとし、長期的な株主価値を最大化し、皆様のご期待に応えるよう、さまざまな経営判断を適切に執り行っております。

今後も、お客様の社会生活の変化をグループ一丸となって支えていけるよう精進していく次第です。ステークホルダーの皆様におかれましては何卒ご高承の上、今後ともご支援を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

2023年6月



株式会社メルコホールディングス  
代表取締役社長

牧 寛之

メルコバリュー

千年  
企業

私たちは、先人の教えを真摯に学び、活用し、常に未来を見据え、メルコバリューを共有する全ての人たちとともに、メルコグループの永続的な成長を目指します。

顧客  
志向

私たちは、常にお客様の視点に立ち、より良い社会生活の実現に資する商品・サービスを提供し続け、私たちの智恵と努力が社会の発展に寄与することを喜びとします。

変化  
即動

私たちは、世の中の変化に目をそむけず、誤りに気付いた時は引き返す勇気を持ち、常に自己研鑽に励み、自己変革を目指して行動します。

一致  
団結

私たちは、フェアアンドオープンで、高い志と情熱を共有する人たちと共に、いかなる困難をも乗り越え、一丸となって目標を達成します。

## 長期的な株主価値の最大化を目指し 組織再編計画を鋭意推進

### 世界的に 不透明な経済状況が継続

当連結会計年度における日本及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症防止対策と経済活動推進の両立が進んだものの、ウクライナ情勢の長期化、世界的な物価の上昇、円安の進行など、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

こうした状況下、IT関連事業では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る政府方針に全面的に協力する基本指針を基に、全社的にテレワークの実施、オフィス内での分散勤務、遠隔会議システムの利用など業務継続を確保するための対策を継続し、安定した商品供給と主力商品の積極的な販売活動に努めました。また、食品事業においても、引き続き感染対策を徹底の上、原材料・資材の確保に注力し商品の安定供給に努めるとともに、安定的な利益確保と売上拡大に取り組みました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高1,425億76百万円(前年同期比1.1%減)、営業利益45億18百万円(同64.4%減)、経常利益47億18百万円(同63.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益30億57百万円(同67.3%減)となりました。

### シェアは維持・拡大するも 収益状況は厳しく

IT関連事業では、法人市場における高付加価値商品の拡販とサービスの提供に注力しました。個人向けでは、公式オンラインストアにて「nasne(ナスネ)®」\*1の販売を開始したほか、新規格「Wi-Fi 6E」\*2に対応したトライバンドWi-Fiルーターを上市しました。商品の安定供給に努めシェアは維持・拡大したものの、国内需要の縮小により売上高は減少、加えて原価高騰により、非常に厳しい収益環境となりました。一方、国内代理店を務める高性能空気清浄機「Airdog」や「バッファロー正規データ復旧サービス」は順調に推移しました。

食品事業では、家庭用商品の売上は巣ごもり消費の反動などもあり一部ブランドで縮小したものの、国産原料を使用し付加価値を高めた「太鼓判」などの拡大もあり売上高は増加、業務用も外食市場の回復に加え、新規開拓の継続などにより売上高は増加となりました。広告販促費などの経費の大幅削減や原価の低減に努める一方、原材料・資材やエネルギーなどのコストアップが想定を大幅に上回ったため、2023年2月より再度の商品価格改定を実施しました。

\*1 「nasne(ナスネ)®」は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標です。  
\*2 Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

## 安定した商品供給、 お客様に選ばれる商品開発、 持続的な利益成長に向けた取り組みに注力

今後の見通しとしましては、新型コロナウイルス感染症の社会的影響はようやく収まりつつありますが、円安の定着、エネルギー価格及び穀物価格をはじめとする世界的な物価の高騰、ウクライナ問題の長期化など、当社グループのビジネス環境は厳しさを増すものと想定されます。こうした状況下で当社グループは、IT関連事業においては、安定した商品供給とお客様に選ばれる商品開発・提供に努めてまいります。一方、食品事業においては、株式上場の準備及び持続的な利益成長に向けた取り組みに注力してまいります。

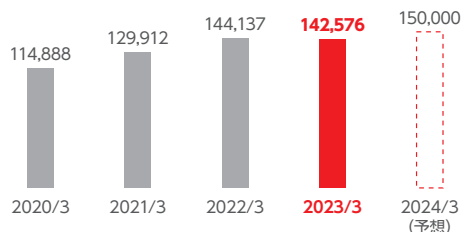
このような想定のもと、2024年3月期の通期連結業績については、売上高1,500億円(前年同期比5.2%増)、営業利益40億円(同11.5%減)、経常利益43億円(同8.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益30億円(同1.9%減)を見込んでおります。

当面の対処すべき課題としては、2023年1月23日付で、シマダヤ株式会社のスピンオフ上場の準備開始を公表しており、長期的な株主価値の最大化を目指し、こちらを始めとする、組織再編計画を鋭意推進してまいります。

(注)1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

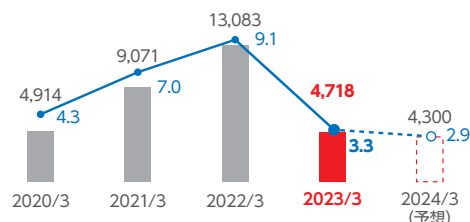
2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第36期(2022年3月期)の期首から適用しておりますが、第35期(2021年3月期)以前に係る各数値については遡及適用を行っておりません。

### 連結売上高 (単位:百万円)



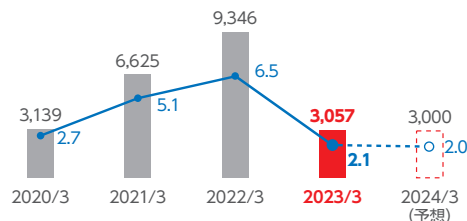
### 連結経常利益 (単位:百万円)

### 連結売上高経常利益率 (単位:%)

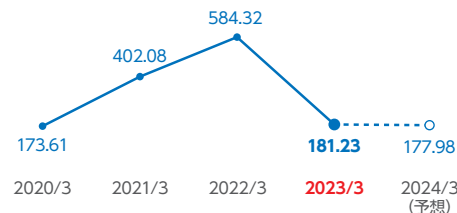


### 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)

### 連結売上高当期純利益率 (単位:%)



### 1株当たり当期純利益 (単位:円)



## お客様の社会生活の変化を メルコグループ一丸となってサポートします

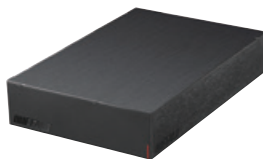
### IT関連

Wi-Fiをはじめとするネットワーク製品、パソコン・テレビ録画用外付けハードディスクや遠隔監視・操作が可能な法人向けNASなどのストレージ製品、磁気データ消去装置「MagWiper」、4K対応ライブ配信専用機器「Blastreams」など、デジタル家電やパソコン周辺機器を中心にさまざまな製品を提供しています。また、高性能空気清浄機「Airdog」、ネットワークコーデック&メディアストレージ「nasne®」\*、ハイレゾ音源専用デジタルミュージックライブラリーなど日常に豊かさを提案する製品も取り扱っています。さらに、データ復旧サービス、リモート管理サービス「キキNavi」などのサービスやソリューションも提供しています。

\*「nasne®」は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標です。



Wi-Fi 6E対応ルーター



外付けハードディスク



nasne®



法人向けNAS



Airdog



Blastreams



デジタルミュージックライブラリー



キキNavi

キキNavi



**バッファロー正規  
データ復旧サービス**

HDDのデータ消失！  
あきらめる前に  
データ復旧サービス

データ復旧サービス

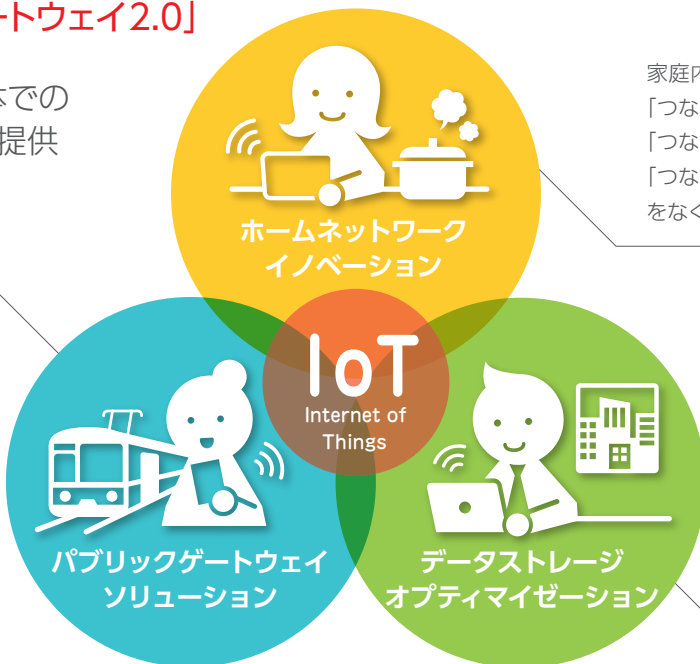
IT関連

## 中期ビジョン「ゲートウェイ2.0」

モノのインターネット

IoT時代の社会全体での  
安心ネットワークを提供

パブリックスペースで  
Wi-Fiに  
「つながらない」  
「つながるのが面倒」  
「つながるのが怖い」  
をなくす



家庭内でWi-Fiが  
「つながらない」  
「つなげられない」  
「つながらなくなった」  
をなくす

大事なデータが  
「消失した」  
「消失が怖い」  
「再生できない」  
「使えるが遅い」をなくす



BCN AWARD  
2023 (2022年1月～12月)  
**14部門受賞(当社グループ)**

全国大手家電量販店の  
実売データ集計に基づくAWARDです。

※1 当社グループとして、CFD販売としては14年連続14回目。

※2 当社グループとして、CFD販売としては12年連続12回目。

無線LAN  
部門



21年連続  
21回目

NAS  
部門



10年連続  
10回目

HUB部門



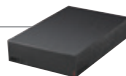
22年連続  
23回目

LANカード  
部門



24年連続  
24回目

HDD外付  
部門



15年連続  
20回目

ルータ  
部門



20年連続  
21回目

- 拡張インターフェース部門
- メモリ部門
- ドライブケース部門
- PC電源部門
- USBメモリ部門
- 記録型DVDドライブ部門
- SSD外付部門

20年連続 20回目<sup>(※1)</sup>  
14年連続 22回目<sup>(※2)</sup>  
13年連続 15回目  
12年連続 12回目  
3年連続 10回目  
3年連続 12回目  
3年連続 3回目

ゆでずに水でほぐすだけで食べられる「流水麺」や、健康価値商品「健美麺」をはじめ、うどん・そば・ラーメン・焼そば・パスタなどバラエティ豊かな商品を提供しています。家庭用商品はチルド麺・冷凍麺、業務用商品は冷凍麺を中心に展開しています。素材としての麺だけではなく、魅力ある「麺料理メニュー」や新しい「麺の食べ方」など、常にお客様の視点に立った商品作りにより、麺市場の新たな可能性を創造しています。

## 開発基本キーワード「7K」



## 連結売上高 (単位：百万円)

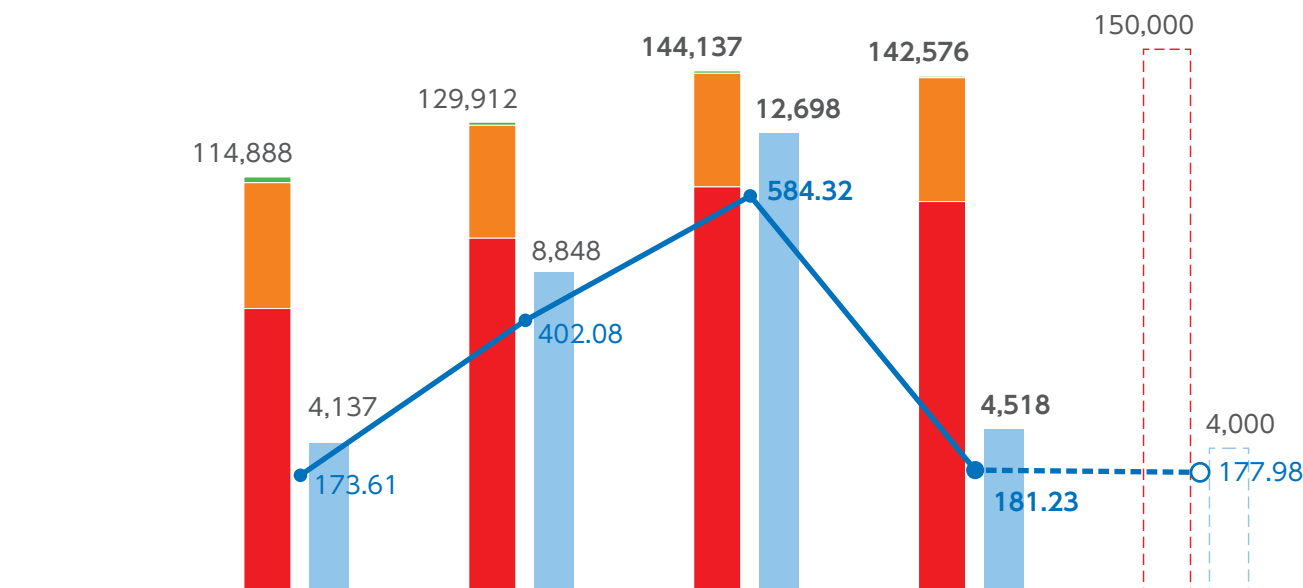
## 連結営業利益 (単位：百万円)

## 1株当たり純利益 (単位：百万円)

■ IT関連 ■ 食品 ■ その他

■

●



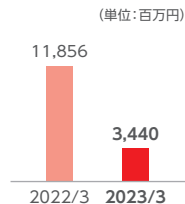
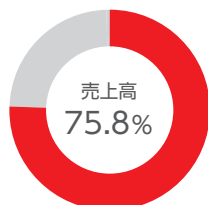
	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3 (予想)
■ IT関連	78,557	97,929	112,161	108,011	—
■ 食品	34,690	31,195	31,317	34,115	—
■ その他	1,641	787	658	449	—

※報告セグメントのうち「金融事業」は、重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の全社管理機能を含んでおります。2022年3月期以前は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。



# 事業別連結売上高・セグメント損益

## IT関連



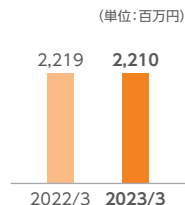
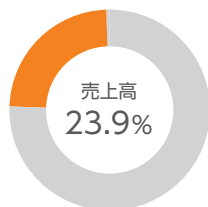
主力とするパソコン周辺機器市場において、法人向け市場ではネットワークで企業DXを支援する一環として、拠点間VPN環境構築に適した法人向けVPNルーターの販売及び現場での設定作業なしでWi-Fiアクセスポイントの運用を開始できる新サービス「キキNaviクラウドゼロタッチ」の拡充や、電子帳簿保存法対応アプリ「電子帳簿マネージャー」の無料提供を開始するなど、法人市場における高付加価値商品の拡販とサービスの提供に注力いたしました。個人向け市場では、バッファロー公式オンラインストアを開設し、ネットワークレコーダー&メディアストレージ「nasne(ナスネ)®」の販売を開始いたしました。また、国内初\*の新規格「Wi-Fi 6E」に対応した最大2.5GbpsのINTERNETポートを搭載したトライバンドWi-Fiルーターを上市いたしました。商品の安定供給に努めシェアは維持・拡大したものの、国内需要の縮小により売上高は減少し、円安及び世界的な半導体不足に端を発する原価高騰により、利益面では非常に厳しい収益環境となりました。

一方、当社グループ会社が国内代理店を担っている高性能空気清浄機「Airdog」においては販売が堅調に推移し、「バッファロー正規データ復旧サービス」においても、感染防止対策のためWebによる受付を活用したこともあり、受付件数が累計6万4千件を超えて順調に推移いたしました。

これらの結果、売上高1,080億11百万円(前年同期比3.7%減)、セグメント利益34億40百万円(同71.0%減)となりました。

\*Wi-Fi 6E対応で最大2.5Gbps対応のINTERNETポートを搭載したトライバンドWi-Fiルーターとして(株式会社バッファロー調べ 2022年9月5日現在)。

## 食品



販売面では、家庭用は、巣ごもり消費の反動などもあり「流水麺」や「健美麺」などのブランド商品が縮小したものの、国産原料を使用し付加価値を高めた「太鼓判」や販売を強化した家庭用冷凍麺などの拡大もあり売上高は増加となりました。業務用は、外食市場の回復に加え、新規開拓の継続などにより売上高は増加となりました。利益面では、広告販促費等の経費の大幅削減や原価の低減、2022年3月実施の商品価格改定の定着に努めました。また、原材料・資材やエネルギーなどのコストアップが想定を大幅に上回ったため、2023年2月より再度の商品価格改定を実施いたしました。

その結果、売上高341億15百万円(前年同期比8.9%増)、セグメント利益22億10百万円(同0.4%減)となりました。

## TOPIC 1

## 「第11回 NIPPON IT チャリティ駅伝」に出場、バッファローは総合4位に入賞

当社グループは、2022年11月にお台場シンボルプロムナード公園セントラル広場(東京都江東区)で開催された「第11回 NIPPON IT チャリティ駅伝」(以下、大会)のテーマである「人が幸せに暮らすために支え合うこと」に賛同し、プラチナスponsorとして協賛するとともに、大会にはバッファローから5チーム出場いたしました。

大会当日は、それぞれのチームがテーマと目標を掲げて出走し、チームメンバー全員が楽しみながらタスキをつなぎ、いずれも完走することができました。中でも“絶対入賞”という高い目標を掲げた「BUFFALO Athletes」チームは、初出場ながら総合4位に入賞し、参加したIT企業の中では最高タイムという好成績を取めました。

この大会で得た収益は、「うつ病」「ひきこもり」の方々の就労支援をしているNPO団体FDA (Future Dream Achievement)への寄付、東日本大震災・熊本地震・鳥取中部地震で被災された地域復興支援などに役立てられます。

今後もお客様の社会生活の変化を当社グループ一丸となってサポートし、企業活動や社員一人ひとりの活動を通じて社会に貢献してまいります。



「第11回 NIPPON IT  
チャリティ駅伝」の様

## TOPIC 2

## 愛知県日進市にネットワーク機器の寄贈や中学生対象の情報リテラシー教育を実施

バッファローは教育現場のDX推進やデジタル田園都市国家構想実現に向けたネットワーク整備の支援を目的として、愛知県日進市へ法人向け無線LANアクセスポイントをはじめとするネットワーク機器12台を寄贈いたしました。2022年11月に日進市役所にて行われた寄附受領式では、バッファロー取締役副社長の渡邊泰治より近藤裕貴市長へ寄附品が贈呈された後、本支援に対し感謝のお言葉をいただきました。寄附品は日進市の小学校及び保育園のネットワーク整備に活用されます。

また、2023年1月に愛知県日進市立日進東中学校の全生徒655名に向けて、情報リテラシー教育の一環として設けられた「SNSの安心安全な利用講座」を行いました。本講座では当社参与の炭田寛裕が登壇し、SNSを正しく利用するための知識や、もし自身が被害に遭ってしまったときにどのように相談すれば良いかなどを実例を交えながら説明し、SNSとの上手な付き合い方について生徒の皆様にお話しいたしました。

商品やサービスの提供だけでなく、情報リテラシー教育などトータルでDX推進をサポートしてまいります。



寄附受領式  
(左)近藤裕貴市長  
(右)バッファロー取締役副社長 渡邊泰治



SNSの安心安全な利用講座  
当社参与 炭田寛裕

### TOPIC 3

## 無線LAN国内販売台数シェアNo.1 21年連続でBCN AWARDを受賞

2022年のパソコン関連商品の販売台数シェア第1位のベンダーに株式会社BCNより贈られる「BCN AWARD 2023」において、BUFFALOは無線LAN部門、HDD外付部門、SSD外付部門などの昨年受賞した部門のみに留まらず、13年振りの受賞となったカードリーダー部門を加えた計10部門を受賞いたしました。また、シー・エフ・デー販売においても、ドライブケース部門など4部門を受賞し、当社グループとして合計14部門を受賞いたしました。

特に無線LAN部門においては、21年連続の受賞となり、2022年は6GHz帯が利用可能となった「Wi-Fi 6E」に対応した国内初\*のWi-Fiルーター「WNR-5400XE6シリーズ」のほか、メッシュネットワークやIPv6対応など時代のニーズに沿った商品を提供してまいりました。

弊社商品をご利用いただいている多くのお客様への感謝とともに、販売店様、OA機器販社様のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。皆様の暮らしにさらに多くの喜びをお届けできるよう、魅力ある商品づくりに努めてまいります。

\*Wi-Fi 6E対応で最大2.5Gbps対応のINTERNETポートを搭載したトライバンドWi-Fiルーターとして（株式会社BUFFALO調べ 2022年9月5日現在）。

#### BCN AWARDとは

株式会社BCNによる、全国の大手家電量販店の実売データ集計に基づき、パソコン関連商品の年間（1月1日～12月31日）販売台数第1位のメーカーに対して表彰されるもので、集計対象となるアイテムはパソコン本体から周辺機器、ソフトウェアにいたるまで多種多様です。実売台数という客観的な指標に基づくAWARDです。



Wi-Fi 6E対応ルーター「WNR-5400XE6シリーズ」



### TOPIC 4

## シマダヤ「流水麺」うどんなど2つの商品が 「JSH減塩推進10年アワード」を受賞

2022年6月に、第10回臨床高血圧フォーラム会場（ロイトン札幌）にて「JSH減塩推進10年アワード」表彰式が行われ、シマダヤの「流水麺」うどんと「健美麺」食塩ゼロ本うどんがアワードを受賞いたしました。

「JSH減塩推進10年アワード」とは、日本高血圧学会の減塩・栄養委員会が2013年9月より高血圧患者や減塩をしようとしている方々のお役に立てるように紹介している「食塩含有量の少ない食品」（JSH減塩食品リスト）の中から、この10年間にさまざまな分野で減塩食品の普及に大きく貢献した企業の製品に対する賞です。この度15社34製品が表彰され、チルド麺としてはシマダヤ商品が唯一の受賞となりました。

減塩市場はこの10年間で拡大しています。シマダヤは、食塩を気にされているお客様でもおいしい麺を食べていただきたいと考え、2012年から減塩商品を発売するなど、減塩への取り組みを行ってまいりました。これからもシマダヤは、健康価値を基軸とした商品の開発・販売を進め、お客様の健康的な食生活に貢献してまいります。



「流水麺」うどん



「健美麺」食塩ゼロ本うどん

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 2023年 3月31日	前期 2022年 3月31日
<b>① 資産の部</b>		
流動資産	66,020	69,722
固定資産	27,389	26,075
有形固定資産	11,236	11,033
無形固定資産	3,394	2,012
投資その他の資産	12,757	13,030
<b>資産合計</b>	<b>93,410</b>	<b>95,798</b>
<b>② 負債の部</b>		
流動負債	27,941	29,618
固定負債	3,005	3,056
<b>負債合計</b>	<b>30,946</b>	<b>32,674</b>
<b>③ 純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	250	250
利益剰余金	61,092	64,898
自己株式	△267	△3,486
<b>株主資本合計</b>	<b>62,075</b>	<b>62,662</b>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	611	605
繰延ヘッジ損益	31	243
為替換算調整勘定	△31	△110
退職給付に係る調整累計額	△222	△299
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>388</b>	<b>438</b>
新株予約権	—	22
<b>純資産合計</b>	<b>62,463</b>	<b>63,123</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>93,410</b>	<b>95,798</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## POINT

## ① 資産の部

総資産は934億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億88百万円減少しました。流動資産は660億20百万円となり、37億1百万円減少しました。これは主に、有価証券の減少66億87百万円、現金及び預金の減少13億27百万円、商品及び製品の減少5億64百万円、未収還付法人税等の増加20億68百万円、原材料及び貯蔵品の増加11億72百万円、未収入金の増加9億64百万円によるものです。固定資産は273億89百万円となり、13億13百万円増加しました。これは主に、無形固定資産の増加13億82百万円によるものです。

## ② 負債の部

負債合計は309億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億28百万円減少しました。流動負債は279億41百万円となり、16億76百万円減少しました。これは主に、未払法人税等の減少12億4百万円によるものです。固定負債は30億5百万円となり、51百万円減少しました。これは主に、退職給付に係る負債の減少1億32百万円、長期借入金の減少99百万円、役員退職慰労引当金の増加2億63百万円によるものです。

## ③ 純資産の部

純資産合計は624億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億59百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の獲得30億57百万円、配当金の支払20億24百万円、子会社株式買取価格の差額支払15億62百万円、その他の包括利益累計額の減少73百万円によるものです。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自 2022年 4月 1 日 至 2023年 3月31日	自 2021年 4月 1 日 至 2022年 3月31日
売上高	142,576	144,137
売上原価	106,589	100,219
販売費及び一般管理費	31,468	31,220
<b>営業利益</b>	<b>4,518</b>	<b>12,698</b>
営業外収益	512	856
営業外費用	312	470
<b>経常利益</b>	<b>4,718</b>	<b>13,083</b>
特別利益	22	—
特別損失	652	47
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>4,088</b>	<b>13,036</b>
法人税、住民税及び事業税	1,041	3,751
法人税等調整額	△10	△62
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>3,057</b>	<b>9,346</b>

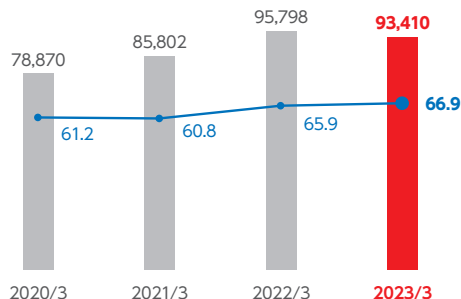
## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自 2022年 4月 1 日 至 2023年 3月31日	自 2021年 4月 1 日 至 2022年 3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	392	1,005
投資活動による キャッシュ・フロー	2,744	△1,839
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,506	△6,958
現金及び現金同等物に 係る換算差額	40	64
<b>現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)</b>	<b>△1,327</b>	<b>△7,727</b>
現金及び現金同等物の 期首残高	21,834	29,562
<b>現金及び現金同等物の 期末残高</b>	<b>20,506</b>	<b>21,834</b>

## 総資産 (単位:百万円)

### 自己資本比率 (単位:%)



(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第36期(2022年3月期)の期首から適用しておりますが、第35期(2021年3月期)以前に係る各数値については遡及適用を行っておりません。

詳細情報は

メルコホールディングス IR

検索

[melco-hd.jp/ir/top](http://melco-hd.jp/ir/top)

国内

株式会社メルコホールディングス

商号	株式会社メルコホールディングス (英文社名) MELCO HOLDINGS INC.
設立	1986年(昭和61年)7月1日
資本金	10億円
事業内容	メルコグループの純粋持株会社 傘下事業会社の株式を所有し、事業活動支援、 経営指導を通じて統括管理を行う
従業員数	32名、メルコグループ連結1,933名
グループ企業	会社数22社(国内19社、海外3社)

役員 (2023年6月26日現在)

代表取締役社長	牧 寛之	社外取締役	宮嶋 宏幸
取締役	長瀬 吉昌	社外取締役	大塚 久美子
取締役	矢野 学	取締役 (常勤監査等委員)	續木 政直
取締役	中山 千里	社外取締役 (監査等委員)	木村 彰吾
取締役	松尾 民男	社外取締役 (監査等委員)	神谷 純
取締役	津坂 巖		
取締役	牧 大介		

株式会社バッファロー

商号	株式会社バッファロー (英文社名) BUFFALO INC.
創業	1975年(昭和50年)5月1日
設立	1978年(昭和53年)8月5日
資本金	3億200万円
事業内容	デジタル家電及びパソコン周辺機器の開発・製造・販売 及びデータ復旧サービス
従業員数	648名

役員 (2023年5月11日現在)

代表取締役社長	牧 寛之	取締役	西脇 孝志
取締役副社長	渡邊 泰治	取締役	岩崎 克己
専務取締役	和田 学	取締役	田村 信弘
常務取締役	矢野 学	監査役	續木 政直
常務取締役	横井 一紀	監査役	小澤 みつる
常務取締役	石丸 正弥		

シマダヤ株式会社

商号	シマダヤ株式会社 (英文社名) Shimadaya Corporation
創業	1931年(昭和6年)7月20日
設立	1949年(昭和24年)3月4日
資本金	10億円
事業内容	麺類及び関連食料品の製造及び販売
従業員数	316名

役員 (2023年5月15日現在)

取締役会長	木下 紀夫	取締役	太田 智之
代表取締役社長	岡田 賢二	取締役	牧 寛之
専務取締役	相馬 紳一郎	取締役 (常勤監査等委員)	加藤 優
常務取締役	小原 伸之	社外取締役 (監査等委員)	深山 隆
取締役	杉山 龍太	社外取締役 (監査等委員)	高木 康行
取締役	佐々木 敏夫		
取締役	曾根田 直基		

## シー・エフ・デー販売株式会社

パソコンパーツ及び周辺機器の開発・製造・販売

## 株式会社バイオス

ストレージ関連製品の開発・製造・販売

## メルコシンクレッツ株式会社

音響機器及び関連製品の開発・販売

## 株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ

ネットワークインフラの構築・保守

## アドバンスデザイン株式会社

データ復旧/消去/変換サービス及びデータ消去製品の製造・販売

## 株式会社デジオン

ネットワーク・ストレージソフトウェアの開発・販売

## 株式会社トゥーコネクト

ダイレクトマーケティング業

## メルコフィナンシャルホールディングス株式会社

グループにおける金融事業の統括管理

## メルコインベストメンツ株式会社

投資運用業・金融商品仲介業

## 海外

## 〈米国〉 BUFFALO AMERICAS, INC.

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

## 〈台湾〉 巴比禄股份有限公司

部材の調達・管理

(2023年3月31日現在)

## 株式の状況

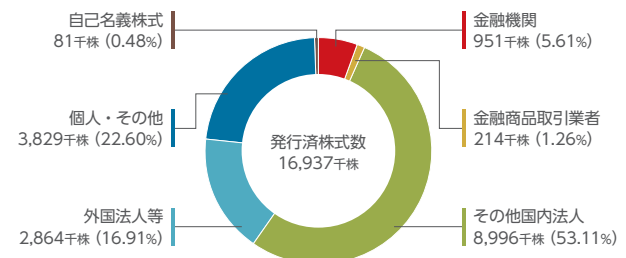
発行済株式の総数 16,937,873株 (自己株式81,726株含む)  
 株主数 4,993名

## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社マキス	8,390	49.77(49.53)
ECM MF	1,781	10.56(10.51)
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	692	4.10(4.08)
牧 寛之	635	3.76(3.75)
牧 大介	500	2.97(2.95)
公益財団法人牧誠財団	500	2.96(2.95)
牧 順	300	1.77(1.77)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	183	1.08(1.08)
岩崎 泰次	148	0.88(0.87)
メルコ共栄会	103	0.61(0.60)

- (注) 1. 持株数は千株未満の端数を切り捨てて表示しております。  
 2. 持株比率は自己株式を控除した発行済株式の総数を基準にして計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。なお、( )内の持株比率は自己株式を含めた発行済株式の総数を基準にして計算しております。

## 所有者別分布状況



- (注) 1. 持株数は、千株未満の端数を切り捨てて表示しております。  
 2. 構成比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

## 株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	議決権行使株主 3月31日 期末配当金受領株主 3月31日 中間配当金受領株主 9月30日
上場証券取引所	東証プライム市場・名証プレミア市場
証券コード	6676
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告 <a href="https://melco-hd.jp/koukoku/">https://melco-hd.jp/koukoku/</a>
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ◎電話照会先 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル) 平日9:00~17:00
幹事証券会社	(主)大和証券 (副)野村證券、みずほ証券、SMBC日興証券

## 株式会社メルコホールディングス (証券コード6676)

東京本社	〒100-6215 東京都千代田区丸の内一丁目11番1号 パシフィックセンチュリープレイス丸の内 TEL. 03-4213-1122(代) FAX.03-4213-1123
名古屋本社	〒460-8315 名古屋市中区大須三丁目30番20号 赤門通ビル TEL.052-251-6891(代) FAX.052-249-6609

## ウェブサイトのご案内

### 株式会社メルコホールディングス

最新ニュースや会社情報、投資家様向け情報などを提供しております。



<https://melco-hd.jp>

### 株式会社バッファロー

製品やサービスの情報や活用事例及びサポート情報を提供しております。



<https://www.buffalo.jp>

### シマダヤ株式会社

お奨めレシピや商品に関するさまざまな情報を紹介しております。



<https://www.shimadaya.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。